

論文タイトル： Cigarette smoking and tooth loss experience among young adults:
a national record linkage study.

論文著者： Ojima M, 他

論文掲載誌： BMC Public Health. 7: 313.

この研究は、1999 年の国民栄養調査と歯科疾患実態調査の両方に参加した 20～39 歳の 1,314 名のデータを用いて、喫煙経験別に歯の喪失の経験の状況を比較しています。

対象者の喫煙率は男性 53.3%、女性 15.5%で、歯を喪失した経験がある者の割合は 31.4%（男性：31.8%、女性：31.1%）でした。喫煙状況別に歯を喪失した経験がある者の割合を比較したところ、現在喫煙者群で 40.6%、過去に喫煙経験あり群で 23.1%、非喫煙者群で 27.9%であり、統計学的に有意な差がみられました。

また、喫煙習慣は、虫歯とも関連があることが示されました。

※詳細は、文献をご確認ください。

—国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所—